

4. 地域の意識

＜近隣関係＞ 経済・社会環境の変化とともに、地域のつながりは希薄化し続け、深い近隣関係を望まない人が増えてきている。しかしながら、多くの人は日常的には深い付き合いは望まないものの、困ったときには助け合いたいとの希望を持ち、いざというときには近隣関係を頼りにしている。

近所付き合いの程度の推移

○親しくつき合っている	(1975) 52.8%	→	(1997) 42.3%	(内閣府「社会意識に関する世論調査」より)
○よく行き来している＋ある程度行き来している	(2000) 54.6%	→	(2007) 41.6%	(内閣府「国民生活選好度調査」より)

隣近所との望ましい付き合い方

○なにかにつけ相談したり、助け合えるようなつきあい	(1973) 34.5%	→	(2003) 19.6%	(NHK放送文化研究所「日本人の意識調査」より)
---------------------------	-----------------	---	-----------------	--------------------------

地域での望ましい付き合い

○住民全ての間で困ったときに互いに助け合う	36.7%	⇒ 計 62.5%
○気の合う住民の間で困ったときに助け合う	25.8%	

(内閣府「社会意識に関する世論調査」(2004年)より)